PICKIN' SINGIN' Rocky Top GINZA かわら版 第103号

2006 11.7 発刊

Yeah!マネージャーNo62
ゴーヤ持ち帰り事件の巻　作 チーフ井上

ロッキーHP→ www.liverocky.com

拝啓 November

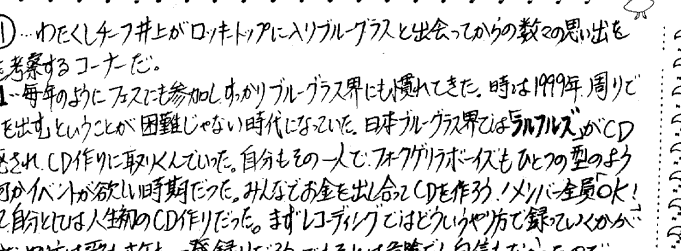
今年もラス前になりましたね。
12月になると1年をふり返ったりしますが、11月はなぜかまだまだ―！
とはりきってる自分がいたりします。
冬の足音が迫り来る今、寒さにもっていかれないようにホットなハートで日々を過ごしていきましょう！

マスター田口の不幸デラックスコーナー

魔の池袋3丁目の巻…まず1度目はAM3時、池袋3丁目付近で検問に会い、車の中の所持品検査をされた。マスター世学の釣りの道具を車に入れてるため様々な危険な工作グッズが出てきた

あまりの悔しさに自宅に帰って布団の中で泣いたとのことだ。これが本当の泣き寝入りというやつだ

2度目はまたしても池袋3丁目AM3時頃、車から謎の黄色い煙が吹き出し始めたのだ



電話をし車の保険屋さんに来てもらい、調べてみるとラジエーターの管が破れていたとのことだ。翌日修理して¥45000ほどの出費がかかった…

魔の池袋3丁目午前3時の悪、マスター田口を襲う不幸の悪魔は次は何を企んでいるのか？お楽しみに！

ワーハッハッハ！

チーフ井上フルマラソンに出場、!!

色んな意味で自分に厳しくなろうと5月頃ランニングを始めたのだがはりきりすぎて1週間でひざが痛み歩けなくなるほどになり、一度は挫折した。原因は急に筋肉を痛めつけたことによる毛細血管断裂だった。でも3週間で完治し医者の許しをもらい、再び7月頃から走り出した。これが走ってみると気持ちいい！苦しさがやがて快感に変わっていく

超で的!!光悦!!とでも言おうか。少しずつ距離をのばし今はほぼ毎日10km走っている。体重も8キロ落ちた。そして周りにそそのかされ12/3(日)那覇マラソンにエントリーしてしまった。フルマラソン42.195kmだ！なんと俺ってスポーティな野郎になっちまったのだろう…しかしウエアなどはあるものですましてるので、下ジャージに海パンでキャップをキャッチかぶりといういでたちで激走し、江戸川土手のウォーキングの方々を驚かせている。今のところ最長20km走ってみた。タイムは1時間25分でも辛かった。果たして完走できるのか？乞ご期待！

Pick Up Live、!

～11月はイベント目白押しです！～

11/2(日) ツインアイドルライブ（浅倉次郎と鈴宏夢）
出 大江戸多摩バンド（フォーカアリング寺島宏夢）
ゆうこ&みずかと藍藍Boys
ロッキー月間最多出演のベース寺島さんの息子さんがクラシックを経てついにブルーグラスに進出！日本のトップフィドラー次郎さんと美しいフィドルセッションをくりひろげてくれることでしょう！対バンはブルーグラス界きっての弱手若手大物甲斐田&土谷夫妻のセッションバンド。南演時間 早めです！
16:00 open 16:30 start BC¥2000 学割¥1000

11/18(土) アイリッシュ&ブルーグラスナイト
MINE（from京都）→アイリッシュ
Untitled B&G Band→ブルーグラス
関西方面の若手アイリッシュ、ブルーグラスバンドのジョイント
BC¥2000

11/19(日) ブルーグラススペシャルナイト
じみち赤澤ショー＆JBB-1+1
JBBの宮崎さんの代わりにスーパーピッカー竹内さんが加入。でも基本的にはじみち赤澤ショー。テクニック＆エンターテイメント両方で楽しめるライブ！必見のライブ！
BC¥2500

11/26(日) ブルーグラス&ドーグナイト
きなこもち（from神戸大）→ドーグ
ANTIQUA（from北海道大OB）→ブルーグラス
現在学生ブルーグラサ最大の人員を保つ両大学の代表が東京に集結する。若者もベテランも応援よろしくです！
BC¥1800

11/29(水) 吉田拓郎だけの夜
出 チーフ井上バンド…アメリカンミュージックの殿堂Rocky Topという看板を自ら壊してしまう。タブー解禁の夜。全曲拓郎ナンバーで3ステージやります。1ステージ目は弾き語り、2・3ステージはバンドです。ギター…白井英郎そしてベース・ドラム・キーボードという編成。今の拓郎にはない若さとパワーでやらせます。当然、「人間なんて」もやります。なお拓郎本人は来ません…
BC¥3000

11/30(木) TAROのブルーグラスでゆお！
今回のお相手はスーパーギターピッカーナベケンです。かなり凄まじいバトルがくり広げられることうけあい！TAROのトークにナベケンがついて来れるのか？見ものだ。BC¥2000

どこへ行くブルーグラス(31)

…わたくしチーフ井上がロッキートップに入りブルーグラスと出会ってからの数々の思い出をたどりながら今後ブルーグラスがどこに行くのかを考察するコーナーだ。

チーフ井上とフォークグリラボーイズCD発売その1…毎年のようにフェスにも参加し、すっかりブルーグラス界にも慣れてきた。時は1999年。周りでも自主制作でCD作りがひんぱんになり「CDを出す」ということが困難じゃない時代になっていた。日本ブルーグラス界ではラルフルズがCDを作ったのを皮切りに何組かがそれに触発され、CD作りに取り組んでいた。自分もその一人で、フォークグリラボーイズもひとつの型のようなものが固まってきた頃だったし、バンドとして何かイベントが欲しい時期だった。みんなでお金を出し合ってCDを作ろう！メンバー全員OK！ということで製作に入った。春から夏にかけて自分としては人生初のCD作りだった。まずレコーディングではどういう方で録っていくかが問題だった。ブルーグラスの場合、最も純粋なやり方は歌もオケも一発録りだろう。でもそれは危険だし、自信もなかったのでソロと歌を抜かしたオケを一発で録ることにした。ただバンジョーだけはあとからソロは不自然になるのでソロも一発録りということになった。ま超クール野郎越田なら大丈夫だろう、と見込んでのことだった。続いて俺の歌、コーラスを録り。最後にギター、マンドリン、フィドルのソロを入れる、というやり方だった。俺以外のメンバーも初めてのレコーディングでいかにも経験のなさから来るハプニングの連続。そして技量のなさをおもむろに露呈することとなった。

そんなこんなで1、2カ月ほどで録音は終わり、その後ミックスダウン、マスタリングと進むわけだが、CD作りのもう一つの楽しみ、それはジャケット写真だった。とにかく目立ってい意味でバカなジャケットを目指した。つづく